

臨床実習Ⅱ 全科に共通する一般目標と注意事項

【一般目標（G I O）】

- 1) 臨床実習Ⅱの期間中に、医師に必要な基本的診療技能とコミュニケーション技能を身につけ、卒業後の臨床研修をより効果的に行うための基盤を形成する。
- 2) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 3) 医療者の一員として診療に従事することで、医師に必要な責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 4) 患者の問題の理解に基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につける。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。正当な理由のない欠席については、卒業試験の受験資格を与えないこともある。